

平成28年度 地方創生加速化交付金及び推進交付金事業（1～3加速化交付金・4は推進交付金）

	交付対象事業の名称	事業概要	実施内容	実績額 (円)	うち 交付金額 (円)	重要業績評価指標（KPI）				有識者からの意見	担当課による評価及び 今後の方針
						評価指標	目標値	目標年度	実績値		
1	クラウドファンディング 「FAAVOしもきた」運 営事業	下北を活性化し起業して仕事を生み出し たい等の意欲のある人に対し、自己資金 の不足や地方公共団体からの財政支援を 受けることもできずチャレンジできない ケースが考えられる為、クラウドファン ディングサイトを活用しインターネット を通じて不特定多数の方から資金の提供 や協力を募るものです。	5町村が連携して設立する（FAAVOしも きた運営協議会）が運営を行ない資金調達 のプラットフォームを提供し応援するもので す。	260,000	260,000	成功事例0件	10件	平成32年3月	現在は0件	とても良い事業であ り、KPIは達成できて いないが件数にはこ だわらずに町として 申請者に対して大い に支援、協力し進め てほしい。 今後も事業を継続し 実施していくこと。	広報やホームページ掲載 により事業の周知を図り 申請希望者には説明しな がら必要に応じ申請して いく。（設置以来4名の 申請希望者があり説明し てきたが申請までは至っ ていない。）
2	ぐるりんしもきた観光地域 づくりプラットフォーム運 営事業	事業を通じ下北TABIアシストを中心 に地域が一丸となり観光案内所の運営、 二次交通の利用促進の取り組み、観光客 の受け入れ体制の充実を図るとともに下北 地域の観光情報をワンストップで紹介・ 発信する。ホームページやパンフレット の作成等の様々な媒体を活用したプロ モーション活動に取り組む。また、地域 が誇る様々な資源の魅力を広く発信し函 館市と下北を結ぶフェリーでの移動を積 極的にアピールし広域周遊ルートの造 成・販売や、インバウンド対策の実施 （勉強会開催）等により受入体制をつくり 更なる交流人口の増大を図る。	・観光地域づくりプラットフォーム運営 ・下北半島エコツーリズム事業 ・下北観光プロモーション事業 ・広域パンフレット作成事業 ・リゾートあすなろ誘客宣伝推進事業 ・ポータルサイト運営事業 ・観光案内所運営事業 ・下北地域広域外国人旅行客受入体制整備 事業	4,060,000	3,401,000	年間観光入込客 数 21万人	22万7千人	平成32年3月	平成28年12月 226,859人 （イベント除く） 99.9%	事業として継続し、 観光客の増加に努め てほしい。	KPI達成まであと少しで あるが今年度はDC初年度 であり、効果が大きな年 であるため今後維持し更 に伸ばすため発信力を強 化し目標達成を目指す。
3	下北ジオパーク構想による 圏域住民総活躍社会実現に 向けた地域再生事業	事業を通じて推進するジオパーク活動と して、自然環境等の地域資源の魅力を経 済活動に繋げ持続可能な地域発展を目指 す。また、地域住民のジオ活動への関 心を高め地域外の方に下北ジオパークの 魅力と意義を紹介する為、出前講座・講 演会の実施、子供たち編ジオパーク教育 やジオツアーの開催等情報発信と普及活 動を行ない地域住民が自ら考え行動でき る環境を整備し、住民主導のジオパーク 活動を促進する。	・小中高生へのジオパーク教育、ジオツ アー、ガイド育成講座によりジオパークへ の理解を深めていく。 ・出前講座・講演会の実施等情報発信と普 及活動を行なう ・日本ジオパークネットワークに加盟し、 各種活動に参画し地域活動を底上げ・活動 を展開していくため、ジオパーク推進員を 置き活動を促進する。	1,000,000	1,000,000	年間観光入込客 数 21万人	22万7千人	平成32年3月	平成28年12月 226,859人 （イベント除く） 99.9%	子供たちも地域を知 る良い機会になる。 事業継続し、観光客 の増加に努めてほし い。	KPI達成まであと少しで あるが28年度はDC初年 度であり、効果が大きな 年であるため今後維持し 更に伸ばすため発信力を 強化し目標達成を目指 す。また、理解度を深め るため、子供たちへのジ オツアー等を開催、広報 を活用した地元への周知 等も実施していく。
4	下北ジオパークによる観光 地域づくり（しもきた DMO）推進事業	大地と豊かな生態系が残されているこの 地域の資源を世界に通用する水準まで磨 き上げていくため、マーケティング調査 など必要なデータを収集・分析等を行う 専門人材を配置し、平成30年4月を目 標に一般社団法人しもきたTABIあしすと をしもきたDMOへ発展させ体制の強化を 図る。さらに、下北観光の舵取り役を担 うしもきたTABIあしすとと日本ジオパ ークの認定を目指す。	しもきたTABIあしすと負担金 ・DMO設立調査事業（専門人材報酬、調査 費用等） ・下北ジオパーク普及事業 （関連図書等購入費）	349,000	174,000	①下北年間観光 入込客数 1,677,338人 ②ジオパーク認 知度 0% ③着地型旅行商 品ツアー実施回 数0件	①85,561 人増 ②認知度 74% ③ツアー 回数50回	平成33年3月	①235,919人増 ②認知度84% ③ツアー回数 10回	今後も事業を継続し 実施していくこと。	DMOの設立に向けた取 り組み、日本ジオパーク 認定、KPIを達成を目指 し事業を継続して実施す る。
合 計				5,669,000	4,835,000						